

昭和55年度施政方針

昭和 5 5 年度施政方針

◎石川前市長の昭和 5 5 年第 1 回市議会定例会における所信

昭和 5 5 年の第 1 回定例会をお開きをいただきましたところ、議員各位には、お忙しいところ御出席を賜りましてありがたくお礼を申し上げる次第でございます。

私は、福生町長に就任して以来、今日まで、先生方並びに市民各位の温かい御理解と御指導と御協力を賜りながら、16年間、歳月はまたたく間に過ぎ去りまして、私の任期もあとほんのわずかと相なっております。したがって、本定例会は、私のお願いいたします最後の議会になるものと思われませんが、本定例会には、新年度を方向づける 5 5 年度一般会計予算案を初め、各特別会計予算案、5 4 年度補正予算案、条例、規約改正等、合計 2 7 件による数多くの重要案件を御提案申し上げます。

このうち昭和 5 5 年度予算案につきましては、私は再度立候補の意思がございませんので、できる限り、次期の市長に政策判断の余地を残すべく骨格予算として編成すべきであると前々から考えておりました。しかしながら、予算案の大体的内容を検討してみましたところ、その内容は基本構想に盛り込まれたもの、あるいは補助金の決定的なもの、また継続事業等がほとんどでありますので、都の御指導を仰ぎ、また各市の例も調査した結果、まことに僭越な行爲とも思いましたが、やはり現在の責任者といたしまして、通常予算を組むべきであるという結論に達した次第でございます。したがって、1 年間の予算を組まさせていただきますので、事情を御高承賜りたいと存ずるところでございます。

次に 5 5 年度予算の特色と主な内容につきまして、きわめて概略的に申し上げます。

予算総額は、一般、特別、受託水道事業会計を合わせますと 1 3 1 億 9 0 1 8 万 6 0 0 0 円でございますが、そのうち一般会計は 9 6 億 2 8 0 0 万 5 0 0 0 円、前年度に比べ 1 4. 7 % 増となり、国・都の厳しい財政事情にもかかわらず、比較的大型の予算を組むことができました。御承知のとおり、東京都の予算につきましては、私ども当事者として補助金等の大幅な減額があることと想像いたしておりました、非常に心痛をしていたのでございますが、議会並びに議員各位のきわめて御熱心な運動のおかげさまをもちまして、予想をいたしましたより好転をいたしまして、昭和 5 4 年度に比較をいたして、おおよそ 5, 0 0 0 万円以内の減額でおさまるような見通しでございますので、ほっとした次第でございます。したがって、本市といたしましては、減額分は一般財源を充当いたしまして、行政水準を落とさないようにいたしました。

歳入の特色といたしましては、税収入を積極的に計上いたしました。また受益者負担につきましては、諸般の情勢を考慮いたしまして、事業活動等に伴うごみ、し尿手数料以外は、すべて負担増は避けました。

歳出につきまして特殊なものを申し上げますと、本年は市制施行10周年の記念すべき年でもありますので、これらの記念事業費、印鑑登録切りかえ事務経費、多摩橋際のばい煙の影響調査費等でございます。事業といたしましては、住民要望の大変強い公園施設4か所の整備、殿ヶ谷分水遊歩道の工事、西住宅地区周辺排水路工事、市営住宅の建てかえ工事、災害対策用備蓄庫の建設等、また学校教育施設といたしましては、一小講堂の増改築、給食センターの改築、一中、二中の増築等、また教育施設といたしましては、仮称加美平学供の建設費を計上させていただきました。次に東口区画整理につきましては、関係者の絶大なる御協力により、54年度末におきまして換地の指定は99%終わり、家屋等の移転も80%完了する予定でございますが、民事係争問題の円満解決を待つべく、事業計画を56年まで、1か年延期をしていただきますよう今議会に御提案を申し上げますので、慎重なる御審議をいただきまして、よろしく願いをいたしたいとお願いを申し上げる次第でございます。下水道につきましては、おかげをもちましてきわめて順調に進捗しております。55年度におきましても80ヘクタール、延長18,500メートルに及ぶ工事を実施すべく、5億5200万円の一般会計からの繰り出しを行い、20億3400余万円の予算を計上した次第でございます。国民健康保険会計につきましては、税といたしまして発足初年度でございますので、事務処理等間違いのないように注意をして努力をしてみたいと思います。

以上、55年度の主な施策について触れてみたわけでございますが、冒頭申し上げましたように、私は今期限りで退任の決意でございますので、それらについて簡単に申し上げさせていただきます。

おかげをもちまして、中央図書館もごく近日中に完成の予定でございますし、地域会館も今議会に上程させていただいてございますが、御決をいただけるならば教育文化施設の整備は一応完了することになります。また、私が最重点に取り上げておりました雨水幹線も順調に進んでおりますので、余り長期間市政を担当するという事は、市政発展のためにプラスどころか、むしろマイナスになるというように私は考えますので、今任期をもちまして、引退をいたしたいと決意をしたわけでございます。

過ぎさりました16年――5840日をいま振り返りますとまことに長く、しかも一瞬のような気もいたします。しかし、私のような者が長い間、任期中きわめて順調に行政運営ができましたことは、市民各位の深い御理解と御協力はもちろん、何ものに増しまして、本日御参集をいただきました先生方、そして前・元議員先生各位の温かい御指導と御援助のたまものでございまして、深く感謝を申し上げる次第でございます。

私の任期も余日はわずかでございますが、有終の美を飾るべく、最後まで誠意を尽くしてみたいと思いますので、勝手なお願いでございますが、どうぞ、最後の最後まで御指導と御協力を切にお願い申し上げまして、きわめて雑駁でございますが、所信を述べさせていただいた次第でございます。

◎田村市長の昭和55年第2回市議会定例会における所信

本日、昭和55年第2回定例市議会を開催するに際し、貴重なお時間をいただき、私の市政運営にあたっての基本的な考えを申し述べ、議員各位並びに市民各位の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

まず、初めに、過般の福生市長選挙におきまして、多くの市民の御支持をいただき、私、田村匡雄が市長として、今後4年間市政を担当させていただくことになりました。

誠に微力ではございますが、議員各位並びに市民各位の御協力を得ながら、私のすべてを傾注し、市政に取り組んでまいりたいと存じます。

さて昨今の社会情勢をみますと、エネルギー問題に端を発し、物価、経済等、国の内外を問わず、難題が山積されておりますが、地方自治体にあっても、例外ではなく、厳しい状況にあります。幸い、本市におきましては、前任の石川市長が、16年間にわたり、議員各位並びに市民各位の絶大なる御理解のもとに、福生市100年の大計というべき、基本構想、基本計画を策定し、都市計画、道路、下水道事業などの都市基盤の整備や、市民会館、中央図書館などの市民文化施設の充実を図ってまいり、今や都市としての形態が着々と整ってまいりました。これもひとえに本日御参集の議員各位並びに前任市長の御努力のたまものと深く敬意を表する次第でございます。本年は、福生市が市政を施行し10周年になります。私は、これを機に福生市も新しい方向に歩み出す年ではないかと考えております。すなわち、地方自治体の目指す目標は、市民の願いを満たすことのできる地域社会、言い換えれば福祉社会の実現であると私は信じておりますが、市制施行からの10年は、そのための環境の整備、施設の充実にあてられてまいったわけで、今ここにいたり、その大方は達成をみたり、順調に進展している訳でございますが、これからは整備された環境の中で、市民が自らの力で連帯と協調をもって、地域社会を築きあげていくことも最も重要であると考えられますし、そのために必要な施策の充実を図っていかなくてはならないのではないかと存じます。

次に市政運営にあたっての基本姿勢及び各施策の考え方について申し述べさせていただきます。

御案内のとおり、福生市も生活基盤が着実に整備され、まちの発展も著しいものがございますが、それに伴い、市民要望も年々増大すると共に、行政需要も複雑多岐にわたっております。これらの行政需要に対応するためには、限られた貴重な財源を計画的、効率的に運用してまいらねばなりません。特に当市の場合、財政構造が依存財源にたよる極めて弱い財政力でございますし、一層の経営努力が必要であると考えられます。そこで私は、市政運営にあたって国・都に対し、補助金等財源確保の要望を積極的にする一方、自主財源の確保に努め、財政基盤の健全化に努めると共に、公共性、緊急性を勘案し、施策の厳選をはかり、より健全な行財政運営を進めるよう最大限の努力をしてまいりたいと考えております。

また、市政運営を進めるうえで回避することの出来ない重要課題に、市の3分の1を占める横田基地の問題がございますが、私は福生市に基地がないことが望ましいということは言うまでもございませんが、国の条約に基づき置かれている以上、国策を待つほかないと考えています。しかし我国全体のために、当市がさまざまな弊害をこうむっておりその代償としては当然国が

全面的に責務をおうべきであると考えております。したがって私は、国に対し市民福祉向上のために強力な財政負担をするように積極的に働きかけてまいり所存でございます。また基地から派生するさまざまな問題に対しても積極的にその解決を図ってまいりたいと考えております。

次に各施策の考え方について申し述べさせていただきます。まず最初に福祉についての考え方でございますが、私は、地方自治体が行うすべての施策が福祉であると考えておりますが、同時に社会的に恵まれていない市民に経済的・精神的に援助をはかる社会福祉についても重要であり今後も福祉の風土が育つような環境づくりと内容の充実に努めていくと共に施設面の整備にも努力してまいりたいと考えております。

学校教育につきましては現在小中学校の環境整備を進めておりますが、既に全校にプール、体育館を配置し校舎はすべて鉄筋化しております。次代を担う子供達の生涯で最も大切な人間形成期の教育の場として一応整いつつありますが、時代の変遷と共に変わってまいります教育環境づくりについても、積極的に進めてまいりますと共に教育諸条件の整備に努めてまいります学校教育の向上を図ってまいりたいと考えております。また社会教育につきましてもさらに指導者の育成を積極的にはかり、既に完成をみております市民文化施設を活用してすべての市民に教育の場を積極的に提供し、市民の教育文化向上に努めてまいりますと共に、体育施設を通じ市民のスポーツ振興にも努力してまいりたいと存じます。

生活環境整備と都市開発についてでございますが、生活環境整備の公共下水道、道路、公園緑地等々の基盤整備事業につきましては、現在着実に進展をみておりますが、今後も重点施策として市民各位の御理解と御協力をいただき、積極的に進めてまいり所存でございます。また福生駅周辺の開発事業につきましては、地元関係者が協議会を発足し開発プランを検討されておりますが、市としてもその結論を待つて市の対応策について議員各位に御相談申し上げ、積極姿勢で対処してまいりたいと考えております。

その他、保健、医療につきましても、市民の健康管理、医療体制の充実などの施策の拡充を図ってまいりたいと考えております。また商工業対策につきましても、大型店舗の進出や環境問題等難しい問題をかかえておりますが、商工会等と連携し、積極的に努めてまいります。

以上、市政運営にあたっての私の基本的な考え方を申し述べさせていただきましたが、同時にすでに御決定を賜っております、55年度予算の忠実な執行と基本構想及び基本計画を十分尊重し、議員各位並びに市民各位の御理解と御協力を賜り「豊かで活力のある福生市」を築くため全力を傾注していく所存でございます。

よろしく御指導御協力を賜りますよう切にお願いいたします。